

吉野昌甫名誉教授略年譜

大正 15 年

1 月 24 日 吉野邦藏、てるの長男として東京市小石川区に生まれる。

昭和 7 年

4 月 東京市小石川区礫川尋常小学校入学。

昭和 13 年

3 月 東京市小石川区礫川尋常小学校卒業。

4 月 東京私立京華中学校入学。

昭和 18 年

3 月 東京私立京華中学校卒業。

4 月 東京商科大学予科入学。

昭和 20 年

3 月 東京商科大学予科修了。

4 月 東京商科大学学部入学。鬼頭仁三郎教授ゼミナール所属（金融論，外国貿易論）。

昭和 22 年

9 月 小泉明助教授にゼミナール指導を受ける（同月鬼頭教授逝去）。

昭和 23 年

3 月 東京商科大学学部卒業。

4 月 東京商科大学特別研究生に採用される。中山伊知郎教授ゼミナール所属。

昭和 28 年

3 月 東京商科大学特別研究生第 5 学年卒業。

5 月 茨城大学文理学部助教授に採用される（金融論，経済学担当）。

- 昭和34年
4月 一橋大学商学部助教授に配置換えされる（外国貿易総論担当）。
- 昭和37年
4月 茨城大学文理学部講師（金融論担当）に併任される（昭和43年3月まで）。
- 昭和40年
4月 産業構造審議会（通商産業省）専門委員に任命される。
- 昭和42年
8月 一橋大学商学部教授に昇任される。
- 昭和50年
4月 一橋大学評議員に併任される（昭和52年2月まで）。
11月 一橋大学商学部長に併任される（昭和52年2月まで）。
- 昭和55年
4月 金融学会理事（昭和61年3月まで）。
6月 大学設置審議会専門委員（大学設置分科会）に任命される（昭和62年3月まで7回）。
- 昭和56年
5月 イギリスを中心に欧州諸国の国際金融及び外国替為市場の現状調査と資料収集のための連合王国、フランス、ドイツ連邦共和国、スイスへ出張を命ぜられる（同年7月まで）。
7月 一橋大学経済研究所教授に兼任される（昭和62年3月まで）。
- 昭和57年
4月 西南学院大学経済学部非常勤講師（国際金融論担当）に採用される（同年12月まで）。
- 昭和60年
4月 東京女子大学文理学部講師（金融論担当）に委嘱される（昭和61年3月まで）。
9月 金融制度調査会（大蔵省）制度問題研究会委員に委嘱される（昭和62年12月まで）。
11月 通産省中小企業庁・中小企業金融政策研究会委員に委嘱される（昭和

61年6月まで).

昭和63年

- 2月 金融制度調査会(大蔵省)第一委員会委員に委嘱される(現在に至る).
- 4月 東洋大学大学院経営学研究科非常勤講師(国際金融論担当)に委嘱される(平成元年3月まで).
- 12月 金融学会常任理事(現在に至る).

平成元年

- 1月 金利調整審議会(大蔵省)委員に任命される(現在に至る).
- 3月 停年により一橋大学を退職.
- 4月 一橋大学名誉教授の称号を授与される.
- 4月 東洋大学経営学部教授(外国貿易論, 国際金融論担当)に採用される.
- 4月 明治大学政経学部非常勤講師(国際金融論担当)に委嘱される(平成元年9月まで).
- 7月 通産省中小企業庁・中小企業金融懇談会委員に委嘱される(現在に至る).